

ひと・地域・世代をつなぐ

南越谷阿波踊りのこれから

南越谷阿波踊りの文化 Culture

南越谷阿波踊りは、徳島・高円寺とともに日本三大阿波踊りに数えられる越谷市の夏の風物詩のひとつです。第40回の節目を迎える今年の夏は、昨年を上回る95の連が参加します。また、3日間で延べ約8,000人の踊り手や鳴り物が躍動し、75万人の人出が見込まれています。地元密着と本物へのこだわりが自慢です。

参加連100連で100万人の観客を魅了することが目標

南越谷阿波踊りは、自分たちの住むまちに誇りと愛着が持てる祭りをつくることを目指して始まり、今年で第40回の節目を迎えることができました。これまで、本場徳島の踊りの基本を大切にしてきました。近年では、越谷北高校吹奏楽部の定期演奏会で阿波踊りを披露したり、渋谷で本場徳島の阿波踊りが体験できるイベント「THE AWAODORI」にも出演するなど新しい取り組みもしています。温故知新の思いを大切に時代に合わせた挑戦もしていきたいと考えています。地域で古くから続いているお祭りが日本の伝統として注目されています。阿波踊りの優雅な舞と鳴り物の一体感による魅力は、地域内外に拡がり、国境さえも超えていけると感じています。ふるさと広場で地元商店会がご当地グルメを提供したり、警備や清掃を地元住民の皆さんにご協力いただいたりと地域全体で取り組んでいます。参加連100連で、100万人の観客を魅了することが目標です。



南越谷阿波踊り実行委員会
実行委員長 関森 初義さん

越谷北高校吹奏楽部とコラボレーション！



5月30日に渋谷で開催された
「2026 THE AWAODORI -序章-
徳島の本気、渋谷で乱舞」



7月26日に行われた
ブレ阿波踊り也大盛り上がり



南越谷阿波踊りの歴史 History

昭和60年に始まった南越谷阿波踊り。きっかけは、市内に本社があるプラスグループの創業者である中内俊三氏の「地域に住民と一体になれるふるさとの祭りをつくりたい」という思いでした。回を重ね、地域に愛される一大イベントになっています。

1985年

第1回目の南越谷阿波踊りが開催。参加連は11連で、来場者は約3万人。



第1回目のポスター



第30回開催で徳島市長賞を受賞したPO連

2014年

第30回の南越谷阿波踊りの開催を記念し、「徳島市長賞」が新設。初の受賞連は「PO連」。

2001年

商店会・自治会・観光協会・行政による「南越谷阿波踊り実行委員会」が開始し、第17回南越谷阿波踊りが開催される。

2018年

第34回の南越谷阿波踊りが開催。約75万人の来場者数を記録し、第1回開催の約25倍の規模になる。

2026年

第40回の南越谷阿波踊りが開催される。参加連は95連で、今年も大盛り上がりが見込まれる。



(一社)南越谷阿波踊り振興会
会長 中内 啓夫さん

これからの世代の誇りとなる祭りに

もともとプラスグループでは、地元で盆踊りの運営のお手伝いをしていました。そこで、地域密着を経営理念とした父の中内俊三が、南越谷で阿波踊りをゼロから始めたんです。本場徳島の正調にこだわりレベルアップに取り組んできました。規模が年々大きくなっていききましたが、地域の皆様とのコミュニケーションを一貫して大切にしてきました。今年で第40回になりますが、阿波踊りの技量は大幅に向上し、徳島との交

流やつながりも強くなりました。一方で、地域密着の思いや安全・安心な運営はこれまでも、これからも変わらないところです。阿波踊りは、もともと庶民のお祭りとして始まっているので、どなたでも楽しめます。「南越谷阿波踊りを観るため、こどもや孫が帰省してくる」とうれしそうに話してもらったこともあります。ふるさと意識を醸成し、これからの世代の誇りとなる祭りにしていきたいと思っています。

南越谷阿波踊りの未来 Future

南越谷阿波踊りの文化と歴史を未来につなぐ取り組みと、次代を担う踊り手を紹介します。



泰斗連 石毛 友康さん(写真左)

泰斗連は、平成9年に設立されました。私自身は、今年で18年になります。連員がいつも楽しく踊っているところは、変わっていませんね。大人からこどもまで楽しめるのが阿波踊りの魅力です。泰斗連では、踊り手と観客と一緒に楽しむことを大切にしています。練習では、まずは自分たちが楽しむように心がけています。楽しみすぎてしまい、本番では失敗してしまうこともあります(笑)。

泰斗連 野田 将樹さん(写真右)

阿波踊りを継承していくために、「南越谷の阿波踊り」として、本場の徳島をお手本にしながら、「南越谷らしさ」を創っていきたくと思っています。そのために、泰斗連では門戸を広げ越谷観明連と一緒に参加していますが、若い世代への浸透という側面もあるので、南越谷全体でも、第45回や第50回の節目では今の小学生や中学生が中心メンバーとなるくらい浸透してほしいと思います。

越谷観明連 顧問 高橋 啓太さん(写真中央)

越谷観明連は、地域とのつながりを大事にしよう、という思いで活動しています。連としてお祭りに参加することはもちろんですが、地域の幼稚園で踊りを披露することもあります。本校には、地域連携委員会として、南越谷阿波踊りの清掃ボランティア等として参加している生徒もいます。高校生らしい、明るく元気な踊りを披露したいと思っています。

越谷観明連 高校1年生 中村 早希さん(写真左)

南越谷阿波踊りは小さいころから観に行っていて、いつかは自分も踊りたいと思っていました。初めての参加で緊張しています。流し踊りを笑顔で最後まで踊りきることが目標です！

越谷観明連 高校2年生 梅田 達花さん(写真右)

阿波踊りは未経験でしたが、面白そうってノリで始めました。指先からつま先までを意識して、姿勢がきれいになるように踊っています。たくさん練習して、自信をつけて、頑張ります！



未来の担い手をさらに大紹介！

PO連 植田 彩紀さん

記念すべき第40回南越谷阿波踊り、精一杯盛り上げます！



PO連 宮原 誉さん

南越谷阿波踊り40回の歴史を、さらに紡いでいくように頑張ります。



(一社)南越谷阿波踊り振興会
運営委員会 マネージャー
まつざか みさき
松坂 実咲さん

南越谷阿波踊りの魅力を皆さんにもっともっと知っていただけるよう頑張ります！



南越谷小学校で阿波踊りの指導をしています！



第40回南越谷阿波踊り特別企画をチェック！

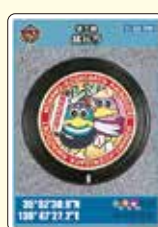
新越谷駅・南越谷駅周辺が阿波踊り特別仕様に！



新越谷VARIEの2階で、過去に南越谷阿波踊りでの受賞経験のある、地元連の衣装の展示を行っています。また、南越谷駅南口の巨大阿波踊りイラストも新しくなりました！ 節目となる第40回の開催に向けて、新越谷駅・南越谷駅周辺が盛り上がっています。

ガーヤちゃん・コシ〜ちゃんのデザインマンホールを設置！

地域のにぎわいの創出と南越谷阿波踊りのPR、下水道の魅力を伝えることを目的に、阿波踊りを楽しむ越谷特別市民「ガーヤちゃん」と「コシ〜ちゃん」のデザインマンホールを設置しています。



場所 南越谷1-17
南越谷駅南口駅前通り歩道上

さらに、マンホールカードを「ガーヤちゃんの蔵屋敷」(弥生町505-2)で配布しています！



第40回南越谷阿波踊りが開催されます

	前夜祭	舞台踊り	流し踊り
日時	8月21日(金) 19:00～21:00	8月22日(土)・23日(日) 14:00～20:42	8月22日(土)・23日(日) 17:10～21:00
会場	サンシティ大ホール・ ショッピング広場	サンシティ大ホール・ 小ホール	南越谷中央通り演舞場、 東口南通り演舞場、 西口駅前通り演舞場、 西口南通り演舞場



プログラムは
こちらから！



南越谷阿波踊り振興会
ホームページ

